

「青森南部町児童交流会」

青森南部町児童交流会が、7月23日から25日まで青森県の南部町で開催され、南部氏の縁で結ばれた両県の児童たちが参加しました。

初日の歓迎セレモニーでは少し緊張気味で、青森県の児童と会話が出来ませんでした。その後のレクリエーションや名刺交換などですぐに打ち解けました。2日目には八戸市にある種差少年自然の家に移動し、各班に分かれていかだを作り、種差海岸でいかだ乗りの体験をしました。

最終日は南部利康霊屋などの見学をして、青森県南部町の児童と交流を深めながら貴重な体験学習をすることが出来ました。



いかだ体験の様子



保育所 魚のつかみ取り

7月23日(木)に栄保育所、24日(木)に富河保育所の園児たちが山水徳間の里で、魚のつかみ取り体験をしました。

園児たちは開始の合図と同時に大はしゃぎで魚を追いかけて、楽しい夏の思い出となりました。



上手につかまえたよ!

令和7年度「防災講演会」開催

令和7年6月29日(木)、危機管理アドバイザーとして省庁の委員や自治体の防災アドバイザー等、幅広く活躍されている国崎信江さんを講師にお招きし、防災講演会を開催しました。講演では、大規模災害に備えた『自助』と『共助』の重要性について、豊富な被災地支援の経験をもとに、具体例を交えながら分かりやすくお話しいただきました。さらに、講演に先立ち、昨年発生した能登半島地震の被災地である石川県珠洲市への支援活動について、派遣職員が報告を行い、現地の状況や支援の実態を知る貴重な機会となりました。



講演会を通して災害の恐ろしさを再認識し、講演を聞いた方々の防災意識が高まりました。



職員応援派遣活動の報告をする佐野副主査(左)と若林主任(右)